

## 経営体育成支援事業目標達成状況報告書(2年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
栃木県	佐野市	植野地区	平成26年度 (平成26年度当初)	平成28年度	佐野市

## I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
① 経営面積の拡大	1 1	1 1	1	100%
② 耕作放棄地の解消	1 0	1 0	1	0%
③ 農業の6次産業化				
④ 農産物の高付加価値化				
⑤ 農業経営の複合化				
⑥ 経営コストの縮減				
⑦ 輸出				
⑧ 農業経営の法人化				
⑨ 雇用				

## II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)
				1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
1	省略	経営面積の拡大	18ha	18.5ha 20.2ha	19ha 22.4ha	20ha	440.0
		耕作放棄地の解消	0	10a 0	20a 0a	30a	0.0

## III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

<p>・経営面積の拡大については、目標年度を上回る水準で拡大しており、今後も規模を拡大していく模様。</p> <p>・耕作放棄地の解消については、当該農地の所有者から貸借について了解が得られず、解消に至らなかった。目標年度(28年度)に25a程度の耕作放棄地の解消を見込んでいるとのこと。</p>
--

## 〔記入要領〕

- 「現状」「目標」欄は、経営体育成支援計画書(以下「支援計画」という。)及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。  
I及びIIの「達成状況」欄の上段は、支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「〇年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。
- IIの対象経営体の成果目標に関する達成状況は、支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。  
IIの経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする。  
(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)  
「参考」欄については、  
販売価格=主な作物の10a当たり販売価格又は農業粗収益を記入する。  
生産コスト=主な作物の10a当たり生産費を記入する。  
経営コスト=10a当たり農業経営費を記入する。
- IIIの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。  
また、目標年度において目標を達成していない場合は、別途、別紙様式1-11号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

## 経営体育成支援事業目標達成状況報告書(2年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
栃木県	佐野市	大伏地区	平成26年度 (平成26年度当初)	平成28年度	佐野市

## I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
① 経営面積の拡大	1 1	1 1	1	100%
② 耕作放棄地の解消	1 1	1 0	1	0%
③ 農業の6次産業化				
④ 農産物の高付加価値化				
⑤ 農業経営の複合化				
⑥ 経営コストの縮減				
⑦ 輸出				
⑧ 農業経営の法人化				
⑨ 雇用				

## II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)
				1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
1	省略	経営面積の拡大	稲10ha	11ha 12ha	12ha 12ha	13ha	100.0
		耕作放棄地の解消	0	10a 16.5a	30a 16.5a	30a	55.0

## III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

<p>・経営面積の拡大については、現状維持ではあるが、目標年度の数値に向けて今後も取組を進めていく模様。  ・耕作放棄地の解消については、近隣の耕作放棄地の所有者と交渉中であり、新たに解消するには至らなかった。  目標年度の達成に向けて農地の貸付希望の確認等を積極的に行うよう指導していく。</p>
---

## 〔記入要領〕

- 「現状」「目標」欄は、経営体育成支援計画書(以下「支援計画」という。)及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。  
I及びIIの「達成状況」欄の上段は、支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「〇年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。
- IIの対象経営体の成果目標に関する達成状況は、支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。  
IIの経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする。  
(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)  
「参考」欄については、  
販売価格=主な作物の10a当たり販売価格又は農業粗収益を記入する。  
生産コスト=主な作物の10a当たり生産費を記入する。  
経営コスト=10a当たり農業経営費を記入する。
- IIIの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。  
また、目標年度において目標を達成していない場合は、別途、別紙様式1-11号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。